



## 緑の屋根 特別号

### 令和7年度 第1回学校評価の結果について

向寒の候、保護者の皆様にはおかげましては、ご清祥のこととぞんじます。また、日頃より本校の教育活動に際しまして、ご理解・ご協力をいただきありがとうございます。

第1回学校評価アンケートの結果を下記にお知らせ致します。

評価対象	番号	評価項目	AB 評価合計割合		昨年2回目	
			児童	保護者	児童	保護者
1 教育課程 ・ 学習指導	1	考えをまとめ、伝える力	<b>8 8</b>	7 9	8 2	8 3
	2	学習内容の理解	<b>9 5</b>	—	9 2	—
	3	コンピュータ等を使った学習	<b>9 5</b>	—	9 0	—
	4	家庭学習や読書の取組	<b>8 2</b>	6 7	8 1	6 8
	5	楽しんで英語の授業	<b>9 1</b>	<b>8 8</b>	8 8	8 5
2 生徒指導	1	あいさつや言葉遣い	<b>9 6</b>	7 9	9 1	8 2
	2	いじめの未然防止	—	8 9	—	9 2
	3	学校への連絡・相談	<b>9 4</b>	9 1	9 2	9 4
	4	楽しい学校生活	<b>9 8</b>	9 4	9 6	9 7
3 キャリア 教育	1	将来の夢や希望	<b>8 4</b>	—	8 2	—
	2	将来について家族で話題	7 0	8 3	7 1	8 8
4 健やかな 体・安全	1	休み時間などの運動遊び	<b>7 7</b>	—	7 3	—
	2	タブレットやスマホの使用時間が1時間以内	5 0	—	5 9	—
	3	健康的な食生活	<b>9 4</b>	—	9 3	—
	4	学校の感染予防対策	—	9 8	—	9 9
	5	過程や地域と連携して安全対策	9 7	9 7	9 7	9 7
5 家庭や地 域との連 携	1	学校の活動や様子の伝達	<b>9 3</b>	9 4	9 1	9 7
	2	学校行事などへの参加	—	<b>9 9</b>	—	9 8
	3	保護者や地域住民の活用	—	9 7	—	9 8
平 均			<b>8 7</b>	8 9	8 5	9 1

※太字の数字は、昨年度の2回目を上回ったものです

## 1 教育課程・学習指導について

昨年度の2回目の調査よりも、全体的に上昇している。学習内容を理解し、話合い活動を通して自分の考えを伝えることができている。特に、家庭学習や読書に関しては、低・中学年を中心に意欲的に読書に取り組んでいることが分かる。図書委員会の取組で、たくさんの本を借りた児童を表彰したり、しおりをプレゼントしたりする活動が定着し、本に親しむきっかけになっていると考えられる。高学年は、本を読む児童と読まない児童で二極化している。委員会活動等で忙しくなるためなかなか本を借りることができない現状はあるが、朝の読書タイムを有効に活用しながら、本に親しめるようにしていきたい。

## 2 生徒指導 あいさつや言葉遣いについて

あいさつや返事についてしっかりとできていると回答している児童が多い。対照的に保護者は、低学年を中心あまり出来ていないと回答している。あいさつや言葉遣いの指導を引き続きしていくと共に、児童会で行っているあいさつ運動を盛り上げていく。

## 2 生徒指導 楽しい学校生活について

「あなたは友達と仲良くし、楽しく学校で過ごせているか」という質問に対して、95%以上の児童が楽しく過ごせていると回答している。毎月実施している生活アンケートを丁寧に確認し、チームで対応することで、いじめ等の早期発見、早期対応ができていると考える。「あまり思わない」と回答した児童については、担任が聞き取りを行い改善できるように対応を行った。

## 4 健やかな体・安全 休み時間の運動遊びについて

「休み時間に運動遊びをしているか」という質問に対して、運動遊びをしていると回答した児童が5・6年になると低くなる傾向にある。委員会の活動やマーチングの練習を休み時間に行っていることが一因であると考えられる。

## 4 健やかな体・安全 タブレット・スマホの使用時間について

「勉強以外の目的でタブレットやスマホを使っているか」という質問に対して、「1時間以内」と回答した児童は、低学年で75%～80%、中学年で50%～65%、高学年15%～30%という結果であった。児童に貸与しているタブレットについては、学習を補助する道具であることを指導していく。スマホやタブレットの使い方について家庭での話合いを設けていただき、約束事を決めて使用できるようにしたい。